

消防団 ネット in 川口

令和元年 9 月 30 日

第 61 号

KAWAGUCHI SHOUBOUDAN NEWS

発行者 川口市消防団活性化対策推進本部

消防団長 吉田 幸市

発行所 川口市消防局消防総務課消防団事務局

電話 048-261-8102

副団長就任挨拶

副団長 荻原 徹雄

本年度より、団本部副団長の職に就かせて頂きました、荻原と申します。よろしくお申し上げます。

私が入団したのは、概ね38年前になります。私の家の近所には、消防団員の先輩達が多く住まわっていて、「商店の後継者は、皆が入団するものだ！」と言われまして、入団を決意しました。

当時の第2分団（現在2支団）は、歴代の団長を数多く輩出していたり、数人の議員さんも在籍されていたりして、分団内は、気軽に話しが出来る雰囲気ではありませんでした。



エピソードとして、懇親会での時ですが、ある先輩団員さんからお酌をいただいた時に、私はウツカリ左手でお猪口を受けると、『君は、左利きかね?!』と言われてしまい、冷汗を流した記憶が、昨日の事のように未だに、思い出されます。

私は、入団当時から約20年もの間、操法隊員として駆けずり回っていました。新団員さんは歳上ばかりで、いつになったら若い団員さんが入団してくれるのか、そんな事を考えている団員でした。時には厳しく、時には思いやりを持って接してくれた先輩達とは、今でも親しくお付き合いをさせていただいております。最近では、先輩団員さんの倅さんや、お孫さんが入団してきて、時の流れに、自らの齢を意識しなければならなくなって来ているようです。

最近の川口市消防団に感じるのは、行事や訓練、そして講習会が多過ぎて、限られた人しか活動が出来なくなっているという事です。気持ちはあるけれど、仕事の都合で参加が出来ない。そういう団員さんが多く居られると思います。

そんな団員さんのフォローも大切にしていきたいと考えております。

消防団そもその『いざという時に』を最重要に意識して、現場第一主義の推進を図りたいと、私は思っております。

益々、都市化が国際的に進む川口市において消防団の在り方を、柔軟に考える時がそろそろ来たのではないのかと感じています。

結びになりますが、川口市消防団の益々の活性化と団員の皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

支団長就任挨拶

第1支団 支団長 新井 清孝



皆様、こんにちは。この度、前任の支団長が定年を迎えられ、その後任として第1支団支団長に就任いたしました新井清孝でございます。入団して20年、力不足は否めませんが、前任の支団長の改革と活性化の精神を引き継ぎ、団員の皆様と更なる進化を目標として頑張りたいと思います。

さて、5月から『令和』の時代がスタートしました。一人ひとり明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせる事ができる。そうした日本でありたいとの願いを込めて『令和』と決定されたとの事です。改めて団員一人ひとりの力を最大限に発揮させ、それぞれの花を咲かせることが出来る支団運営を心掛けて活動して参りたいと思いました。

今後とも今まで以上のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

第2支団 支団長 矢島 健

この度、第2支団支団長を拝命致しました矢島健です。

平成11年に消防団の先輩に誘われて入団して以来、今年でちょうど二十年になります。今、思い起こすと、あっという間の二十年だったように思います。

私の所属する第2支団は、今まで3人の消防団長を輩出している支団であり、歴史のある支団です。

また、私の祖父も川口駅西口がまだ横曽根村だった時に、消防団長として活躍していたこともあり、私がこの横曽根地区の支団長となったのも、何か運命めいたものを感じざるを得ません。

このように歴史ある支団の支団長となったことにつきまして、責任の重さを痛感しているとともに、諸先輩に恥じぬよう、務めさせて頂きたいと存じます。

第2支団は今年になってからも、はたちの集い PR 活動やステアレース、川口花火大会と非常にイベントへの出場が多い支団ですが、前荻原支団長のパワフルな行動力を見習い、更に第2支団を盛り上げていきたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。



第4支団 支団長 吉原 一夫

この度、平成31年4月1日より川口市消防団第4支団長に就任いたしました。諸先輩方が築き上げてこられた伝統あるこの消防団を引き継ぐ責任を感じているところです。

皆様方のご理解とご支援・ご協力を賜り、微力ながら支団長職を務めていきたいと思っております。

昭和 59 年に入団以来今日まで訓練及び災害出場に参加して参りました。活動と経験を通して多くの仲間と知り合い、団員としての自覚を身に付ける事が出来ました。家族の協力、緒先輩のご指導によるところです。これらの経験に加えて加藤前支団長の意思を引き継ぎ 4 支団 46 名の団員と共に荒川と芝川に挟まれた街、南平分署管轄の地域防災、各種活動に対し、消防局職員のご指導を頂きながら活動してまいります。

最後に川口市消防団の発展と団員の皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げ、支団長就任の挨拶と致します。

第 6 支団 支団長 新井 義則

この度、名誉ある第 6 支団長に、団員推薦をいただきました新井です。伝統あるこの団の、OB また団員の力強いお力を借りて、この地域に住む皆様と共に火災の少ない災害のない安心した生活を送ることができるよう心新たに頑張る覚悟です。

就任まもなく大きな災害が続き、前途多難と感じた日々でした。火災のたびに消防署員の皆様の苦勞が身にしみて感じられました。我々はその手伝いしかできませんが、団員一丸となって、これからも精進して参りますので、ご指導のほどお願い申し上げます。

各支団長の皆様の仲間入りができましたことを期に今後ともよろしくお導き下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。



ステアレース川口

第 7 支団 3 分団 長瀬 祐一



3 月 9 日 ステアレース川口が開催されました。

事前準備と致しましては、参加するメンバーの方々とトレーニングに励み、スクワットやダッシュなどのメニューをこなして、瞬発力と持久力を徹底的に鍛えました。

またレース当日は、10kg のホースを担いで駆け抜け、ホースを置いて一気に、リアの階段を駆け抜け、何度もくじけそうになりましたが、最後まで諦めないで完走した時は爽快な気分になり、最高の達成感を味わえました。

また、今回の経験を踏まえた上で以下の点を今後の活動に生かしたいと思います。

まず、今回のステアレースで更に高まった団結力を武器に様々な活動現場で迅速な対応が出来る様にします。

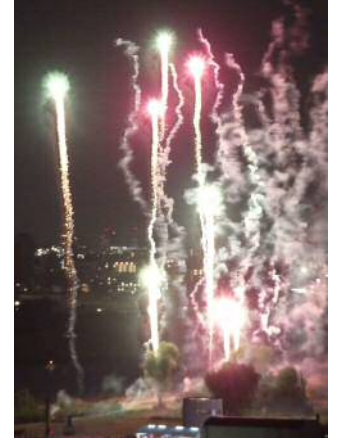
また、今回のステアレースを機会に、心身の鍛練に励み、日々の活動に励みます。

川口花火大会警備

第2支団 第1分団 団員 石橋 直忠

令和元年5月18日土曜日、川口市の中核市移行1周年記念として、川口花火大会が荒川運動公園で実施されました。

消防特別警戒として我等、第2支団第1分団、第2分団、そして横曽根分署、南消防署員の方々と一緒に警戒にあたりました。花火打ち上げは18時30分からです。会場近くの道路が16時30分から車両通行規制となるので、その前に現地に入らなければなりません。



消防団員は、線路下に車両を配置し荒川から自然水利をとり、火災発生時に備えます。

そして無事に花火打ち上げが20時に終了し花火大会は閉会し安堵しましたが、来場者(物凄い人数)が会場を出るまで待機して22時位に車庫に戻る事ができました。

感想として見物人や来場者が多数いる時の緊急走行や消防活動の難しさを知った日となりました。

消防団普通救命講習

7支団3分団 団員 長瀬 祐一

5月18日土曜日 9:00から12:00まで川口市消防局にて消防団普通救命講習に参加してきました。

- ◆対象者：入団3年以内で団員の階級にある者
- ◆実施場所：消防局4階屋内訓練場
- ◆実施内容：心肺蘇生やAED、異物除去、止血方法



当日のカリキュラムとして、胸骨圧迫、人工呼吸などの心肺蘇生、AEDの使用方法を実践し、救命処置の流れ、さらに異物除去、止血方法なども学びました。

今回は、応急手当の目的、早い応急手当の開始の重要性など、大変になる事ばかり学ばせて頂きました。今回学ばせて頂いた事を忘れず、今後の団員としての活動はもちろん、普段の生活の中でも活かせるよう日々行動して行きます。

瑞宝単光章を受章

令和元年5月21日に松本元副団長が『令和元年春の叙勲』で瑞宝単光章を受章しました。令和元年5月24日にニッショーホールにおいて叙勲伝達式を実施いたしました。

栃木県の歴史、資料館、豊かな食を体験できた研修

第11支団第1分団 団員 荒井 瑞恒

令和元年6月22日（土）から23日（日）までの第11支団の研修を報告いたします。

第1 歴史・資料館を学んだ1日目

6月22日（土）、梅雨空のもと、バスに乗車し栃木方面へ向かいました。まずはバンダイミュージアムを見学しました。



ファミリーコンピュータは子供時代に遊んだ記憶を喚起してくれました。

私はエジソンのことば「私たちの最大の弱点は諦めることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一回だけ試してみることだ」に感銘しました。

発明家ならではの生き方や考え方を垣間見ることができた資料館でした。



昼食を道の駅ロマンチック村で取ったあとに大谷石資料館へ行きました。年平均気温は10度前後に保たれ、半そで短パンの私にはヒンヤリした空気が気持ちよかったです。何よりも圧倒されたのは、「地下神殿」ともいえるような広大な地下空間です。歴史を調べると第二次世界対戦時の陸軍の地下秘密倉庫や、中島飛行機の地下軍需工場として使用されたこととのことでした。現在は、見学のほか、コンサート、映画、テレビなどの撮影が行われる場所としても活用されているとのことでした。

その後場所を移動し、酒蔵見学をしました。現在国内の日本酒消費量は減少しているものの、消費増は、国内の若い女性、海外での人気との紹介がありました。見学した渡邊佐平商店の方からは、歴史・食・自然・文化・知恵・格言など酒にまつわる興味深い話を聴くことができました。

第2 宿泊先にて

鬼怒川パークホテルズにて宿泊しました。温泉と美味しい食事を満喫しました。宴会では楽しく歌って、飲んで、楽しい夜を過ごしました。

第3 日光、ましこを廻り帰路へ

ホテル出発後、日光東照宮を散策しました。三猿を過ぎ、眠猫を通過し、奥宮まで至ったときには、息があがりましたが、黄金色の本社の美しさには目を見張りました。なお、散策中に風情ある屋外消火栓を見つけ、写真に収める団員が多くおり、我々の防火意識の高さを再確認しました。



昼食は日光カステラ本舗にていただきました。団体の修学旅行生もたくさんおり、店内はほぼ満席の賑わいでした。

その後、メロン狩りを楽しみ、道の駅ましこで買い物をして、帰路へつきました。

第4 まとめ

本研修にあたり、幹事として研修企画にご尽力いただいた、第11支団第3分団の山本さんありがとうございました。おかげさまで、団員同士の懇親を深め、楽しい思い出をつくることができました。また、安全な旅行を提供いただき、バス車内では多少(?)賑やかな我々にも温かく接して下さった今井観光バスさんの運転手さん・ガイドさんありがとうございました。

そして、充実した2日間の研修を楽しく過ごすことができたのは、消防団諸先輩方との楽しい語らいがあったからこそ、と感じます。この場を借りて関係各位の皆さまへ感謝申し上げます。

以上

平成31年3月31日 分団長以上退団者

- ★大谷 光布 団本部 副団長
- ★志賀 修介 第1支団 支団長
- ★鈴木 正弘 第1支団第1分団 分団長
- ★新聞 裕 第3支団第3分団 分団長
- ★加藤 恵一 第4支団 支団長
- ★鈴木 国雄 第6支団 支団長
- ★高橋 勝 第7支団第3分団 分団長



長い間お疲れさまでした。

.....

【編集後記】

第5支団第1分団 団員 村田 彰一

今回の団ネットはいかがでしたか？

これからも各支団、イベント、消防団活動状況などを皆さんにわかりやすくお伝えしていきたいと思えます。

何かご意見などあれば各支団の広報委員にお気軽にお声がけ下さい。

今後とも皆様のご協力の程宜しくお願い致します。



次号は11月下旬 発刊予定です